別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所						こる事業所の所在地)	
名 株式会社日立製作所 所					- 〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号		
本票作成部署名: サステナビリティ推進本部							
主たる業種 ^{分類} コード 29 業種名:電気機械器具製造業							
事業の 事業概要;岡山地区の営業活動及び情報処理サービス業 概 要 在籍人数:237人							
	番号				 所	在 地	
	留 夕				17 1±. ±E		
旧七の	2	金融システム事業部		岡山口	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
県内の主 な	3	中国支社 岡山支				石井一丁目1-3	
工場等		7 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	· —	1 41 17	1,	11,51	
特定事業 の該当要		①燃料等原油換算1, ●工場等の数	500kℓ以上 □ ②バス・ 3 所		、タクシー250台以_ d数(②該当の	上 □ ③CO₂換算3,000t以上 場合) 台)	
温室効果な	ブス 基語	準年度(令和 元	年度) (令和	3)年度	₹排出量 目標	年度(令和 6 年度)	
排出量		19,966 t	CO_2		3 t CO ₂	23, 960 t CO ₂	
	番	番号 工場等の名称			(令和 3)年度排出量		
	(D 日立システムフ	プラザ岡山		14,600 t CO ₂		
ナヤエ相		② 金融システム事	季業部		173 t CO ₂		
主な工場の排出量	- (③ 中国支社 岡山支店			15 t CO ₂		
						t CO ₂	
						t CO ₂	
						t CO ₂	
		画期間: 令	和 2 年度	~ 4	合和 6 年度	5 箇年度)	
削減目標 達成状		☑ 総排出量基準	(3) 年度削	減実績	目標削減率	目標達成	
X17X1V(1	<i></i>	□ 原単位基準	25. 9	%	\triangle 20.0 %	∥ ☑ 達成 □ 未達	
(FE) V (45.44	温:	室効果ガスの排出量と額	密接な関係をもつ値の内容	容	原単位当次	たり排出量	
(原単位基 の削減目標	を			基準學	年度 (3)年度 目標年度	
選択してい 場合に記入				00.77) ~~ //)	
		⇒n → \		CO ₂ /() CO ₂ /() CO ₂ /()	
(該当事業		<u>(記入)</u> 対象事業の名称	ベンチマーク	 指煙	関連数値(令利	和 3 年度) 達成率等	
指標の状	´ ⊢	\(\text{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\ti}\text{\tin}\tint{\text{\text{\tin}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\text{\text{\text{\texi}\tint{\text{\texi}\tint{\ti}\tint{\text{\texi}\tint{\text{\ti}\tint{\text{\tint}\t	¥ / ` /	1 H.NV	10年外間(17		

- ①日立システムプラザ岡山
 - ・省エネルギー型空調設備への更新を継続実施、空調機の設定温度見直し、室内エアーフローの改善、 IT機器で使用する電力量が減少したことにより、CO2排出量を昨年度比で2,400t-CO2削減
- ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店 : テナン入居拠点
- ・ビルオーナーの省エネ施策への協働とテレワーク(在宅勤務)の実施によりCO2排出量を昨年度比で 38t-C02削減

【推進体制】

- ①日立システムプラザ岡山
- ・IS014001認証取得の一部門として環境マネジメントの運用体制を維持し、推進責任者をトップとして エネルギー削減の改善活動を実施
- ・省エネ法のエネルギー管理体制に基づく活動
- ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
- ・省エネ法のエネルギー管理体制の基づく活動

「日煙削減率達成のために実施」を世界及び合名の取組し

【目標削減率達成のために実施	<u> </u>
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①目立システムプラザ岡山 共通事項	(令和3年度実施分) ・高効率IT機器の更新 [効果:事業所全体1% CO2削減] ・LED照明設備の導入 32W→26W [効果:事業所全体<0.1% CO2削減] (今後実施予定分) ・高効率IT機器の更新 [効果:事業所全体の1.7% CO2削減] [時期:令和4年度~6年度実施計画] ・LED照明設備更新 32→26W [効果:事業所全体0.7%CO2削減] [時期:令和4年度~5年度実施計画] ・事務所等の空調設備の停止台数、及び設定温度の緩和(夏季:26℃、冬季:20℃)の実施 ・照明照度計測による照明灯数の削減 ・デマンド監視装置連動による空調、照明の自動電源カット実施 ・テナント事務所においては、ビルオーナーとの協働による省エネを推進

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	有	岡山リサーチパーク内に日立システムプラザ岡山が管理する森林を保全
その他	有	日立ITエコ実験村(生態系・里山保全) https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/geoaction100/iteco/index.html

【再生可能エネルギーの導入】

▼ 1 1 1 1 1	工 1 m — 1 / 1 / 2 / 1 / 1		
県内で の取組	有	日立システムプラザ岡山の敷地内に電源自立型(ソーラーパネル付)屋外灯を2個所に設置	
その他	有	日立製作所の岡山県外4事業所では、令和3年度にPVにより2,004MWh/年を発電した。	

【その他特記事項】

- ・日立システムプラザ岡山では、毎年会社支援の下で社員のボランティアによる事業所周辺の クリーン化(清掃)活動を実施しており、地域への社会貢献を兼ねた地域美化を実施している。 ・TCFD、GXリーグの賛同、SBT、CDPの実施、サステナビリティーレポートによる外部開示の実施